

平成19年度(2007年度)エネルギー需給実績(速報)

経済産業省

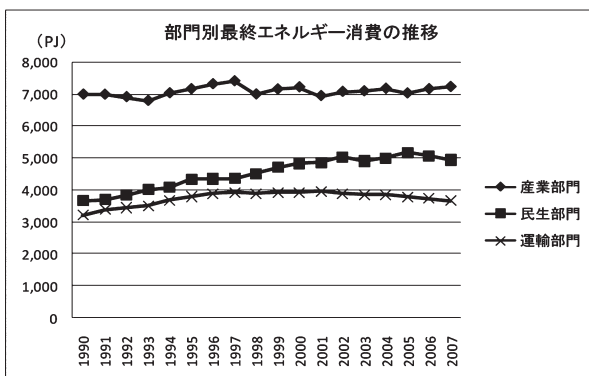
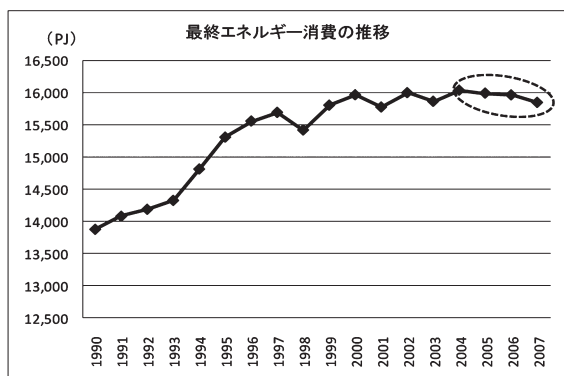
資源エネルギー庁は、各種エネルギー関係統計等を基に、平成19年度(2007年度)エネルギー需給実績の速報を取りまとめました。

その概要は以下のとおりです。

- 最終エネルギー消費は、各部門のエネルギー利用効率が上昇したため、2005年から3年連続で減少しました(対前年度比▲0.7%)。
- 他方、エネルギー起源の二酸化炭素排出量は、主に新潟県中越沖地震などの原子力発電所の利用率低下の影響によって増加しました(対前年度比+2.7%)
- 産業部門は、製造業のエネルギー効率が6年連続で改善

しているものの、景気が好調であったことから若干増加しました(対前年度比+0.9%)。

- 民生部門の消費は、前年と比較すると夏が暑く冬が寒かったため家庭部門が増加しましたが、業務部門のエネルギー効率の改善等により、減少しました(同▲2.2%)。
- 運輸部門の消費は、2001年をピークに一貫して減少しました(同▲1.9%)。
- エネルギー消費が減少する一方で、エネルギー起源CO₂排出量は増加しましたが、その主な要因は、地震と渇水の影響により、電力の原単位が増加したことによるものです。



エネルギー起源 CO₂ 排出量の推移(2007 速報)

エネルギー起源CO ₂ 排出量 (百万t-CO ₂)	1,059	1,067	1,074	1,068	1,123	1,135	1,147	1,143	1,113	1,148	1,167	1,153	1,193	1,198	1,199	1,203	1,186	1,218
[前年度比]		+0.7	+0.7	▲0.6	+5.2	+1.1	+1.0	▲0.3	▲2.7	+3.1	+1.7	▲1.2	+3.4	+0.4	+0.0	+0.4	▲1.4	+2.7
[90年度比]	+0.0	+0.7	+1.4	+0.8	+6.0	+7.2	+8.3	+8.0	+5.1	+8.4	+10.2	+8.9	+12.6	+13.1	+13.2	+13.6	+12.0	+15.0

